

第1回子ども・青少年を健やかに育むための文化・芸術振興に係る検討会 次第

日時：令和元年9月2日（月）18時～

場所：ルビノ京都堀川3階 アムールの間

1 開会のあいさつ

2 出席者紹介

3 検討会の設置趣旨と会長の紹介

4 議題

(1) 現状報告

資料 1：府市で行っている文化・芸術関係の主な事業について

資料 2：府内の文化・芸術関係の主な公設の施設について

参考資料：市民ニーズ調査・意識調査（H30 京都市実施）の文化・芸術活動に係る調査項目に対する回答結果について

(2) 意見交換

5 閉会のあいさつ

「子ども・青少年を健やかに育むための文化・芸術振興に係る検討会」
委員名簿

氏名	団体・役職名
伊豆田 千加 <small>いづた もか</small>	特定非営利活動法人 子育ては親育て・みのりの もり劇場 理事長
上田 静男 <small>うえだ しずお</small>	公益社団法人 京都府青少年育成協会 会長
栗山 圭子 <small>くりやま けいこ</small>	株式会社京都新聞社 編集局文化部 編集委員・論説委員
小崎 恭弘 <small>こさき やすひろ</small>	大阪教育大学 教育学部 准教授
竹内 香織 <small>たけうち かおり</small>	公益財団法人京都市芸術文化協会 事業課長
新川 達郎 <small>にいかわ たつろう</small>	同志社大学大学院 総合政策科学研究科 教授

※ 五十音順，敬称略

第1回 子ども・青少年を健やかに育むための文化・芸術振興に係る検討会

於：ルビノ京都堀川「アムールの間」

同志社大学大学院 総合政策科学研究科 教授

新川 達郎

会長

大阪教育大学
教育学部 准教授
小崎 恭弘

(特非)子育ては親育て・みのりのり劇場 理事長

伊豆田 千加

(公社)京都府青少年育成協会 会長

上田 静男

(公財)京都市芸術文化協会 事業課長

竹内 香織

(株)京都新聞社 編集局文化部 編集委員・論説委員

栗山 圭子

記者席

記者席

事務局

京都市
子ども若者はぐくみ局
育成推進課長
和田 陽

京都市
子ども若者はぐくみ局
福井 弘

京都市
子ども若者はぐくみ局長
久保 敦

京都府
健康福祉部長
松村 淳子

京都府
健康福祉部副部長
柴田 浩継

京都府健康福祉部
子ども・青少年総合対策室長
水谷 公祐

京都府健康福祉部
子ども・青少年総合対策室
青少年担当課長
野木 孝洋

(傍聴席)

京都市
文化市民局
文化芸術都市推進室

京都市
教育委員会事務局
指導部
学校指導課

京都府
文化スポーツ部
文化芸術課

子ども・青少年を健やかに育むための文化・芸術振興に係る検討会設置要領

(趣旨)

第1条 子ども・青少年の文化・芸術振興について、専門家等から幅広く意見を求めることを目的として、子ども・青少年を健やかに育むための文化・芸術振興に係る検討会（以下「検討会」という。）を京都府及び京都市が共同で設置する。

(委員)

第2条 検討会に参加する委員は、学識経験のある者その他京都府知事及び京都市長が適当と認める者のうちから、京都府知事及び京都市長が依頼する。

2 前項の規定により依頼する委員の人数は、10人以内とする。

(任期)

第3条 委員の任期は、1年とする。

2 委員は再任されることができる。

(会長の指名等)

第4条 京都府知事及び京都市長は、委員のうちから検討会の会長を指名する。

2 会長は、検討会の進行をつかさどる。

3 会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

(招集)

第5条 検討会は、京都府健康福祉部長及び京都市子ども若者はぐくみ局長が招集する。

2 京都府健康福祉部長及び京都市子ども若者はぐくみ局長は、検討会において必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、意見の陳述、説明その他の必要な協力を求めることができる。

(委任)

第6条 この要領に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、京都府健康福祉部長及び京都市子ども若者はぐくみ局長が別途定める。

附 則

この要領は、令和元年7月31日から施行する。

今後のスケジュール（案）

9月2日（月） 第1回検討会

10～11月頃 第2回検討会
・ 第1回検討会で出た論点をもとに、
意見交換

12～1月頃 第3回検討会
・ 意見取りまとめ（案）をもとに、
意見交換

意見取りまとめ

府市で行っている文化・芸術関係の主な事業について

【京都府事業分】

事業名	事業概要
文化を未来に伝える次世代育み事業	<p>児童生徒に対し、質の高い文化・芸術及び伝統文化を体感する機会を提供することにより、豊かな心の育成を図り、文化芸術の振興、次世代継承の取組を実施する。</p> <p><令和元年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育所、小、中、高等学校への芸術家派遣による芸術・文化体験授業や、学校教員向けの講座の実施（プログラム実施数：38） <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラム（演劇、合唱、陶芸等） ・地域の伝統文化継承等プログラム（能楽、和太鼓等） ・合同鑑賞プログラム（狂言） ・教員向けプログラム（能楽、陶芸等） ・就学前プログラム（影絵芝居、色砂づくり） ○地域の文化拠点施設における親子で地域の伝統文化体験の実施等（プログラム実施数：18） <ul style="list-style-type: none"> ・舞台・パフォーマンスプログラム <p>公立会館が地域の特色ある文化芸術を含めた内容を企画。地域の児童生徒が講師の指導を受けて練習・発表</p> ・地域文化探求プログラム <p>地域の美術館・博物館等が親子などを対象に地域色を活かしたワークショップ、連続講座等を実施</p>
こころを育む古典の日推進事業	<p>中学高校生を始め多くの人が多くの人々が古典に深く親しむきっかけづくりのため、古典文学朗読の全国公募コンテストを実施する。</p> <p>（※朗読コンテスト内に一般部門とは別に中学・高校生部門を設定）</p> <p><令和元年度></p> <p>内 容：第11回古典の日朗読コンテスト</p> <p>テーマ：日本の古典文学にみる諧謔（かいぎやく）（ユーモア）</p> <p>表彰式：12月1日（京都府立京都学・歴彩館）</p>

<p>全国高校生伝統文化フェスティバル開催</p>	<p>日本の伝統文化に勤しむ全国の高校生が一堂に会する文化フェスティバルを開催することで、国内外に日本文化の素晴らしさを広め、日本各地での伝統文化の次世代への継承・発展に資する。</p> <p><令和元年度></p> <p>内容：[伝統芸能選抜公演]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化に勤しむ全国トップレベルの高校生による郷土芸能、日本音楽などの伝統芸能等の選抜公演 <p>[茶道フェスティバル]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶道に親しむ全国の高校生が集い、日頃の活動の成果を披露し合うとともに、茶道文化に関する研修を通じて、流派を超えた高校生の新たな出会いと交流を図るもの <p>時期：令和元年12月14日、12月15日</p> <p>場所：京都コンサートホール、京都学・歴彩館</p> <p>参加者数：約3,230人（2日間延べ）（観覧者、出演・運営協力生徒等）</p>
<p>京都学生祭典開催助成</p>	<p>京都に学ぶ学生が主体となって企画運営を行う「京都学生祭典」の開催に対し助成を行い、「大学のまち・京都」を世界に発信し、京都の活性化を推進する。</p> <p><令和元年度></p> <p>内容・テーマ：第17回京都学生祭典「京都から挑み、ともに新時代へ」</p> <p>時期：令和元年10月13日</p> <p>会場：平安神宮前・岡崎プロムナード一帯</p> <p>主催：京都学生祭典実行委員会</p> <p>内容：おどり企画、みこしパレード、おどり・音楽・ファッションコンテスト等</p>
<p>KYO発見 仕事・文化体験活動推進事業</p>	<p>児童生徒に望ましい京都の伝統・文化を大切にする心等を身につけさせるため、府内の小・中学校で地域の伝統文化や古典に関する体験活動を実施する。</p> <p><令和元年度></p> <p>事業形態：市町村補助事業</p> <p>補助額：補助対象経費の2/3、上限28,000円（1学級あたり）</p> <p>活動内容：[文化体験]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能、和装、盆踊り体験等 <p>[古典体験]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人形浄瑠璃体験、和紙づくり、友禅染め体験等
<p>高校生伝統文化事業</p>	<p>茶道・華道・古典など有形・無形の文化財に関する学習を通して、伝統文化を尊重する態度を育成する。</p> <p><令和元年度></p> <p>茶道：原則として全府立高校で実施</p> <p>華道：府立高校20校程度で実施</p> <p>古典：府立高校20校程度で実施（連歌や和歌、邦楽、和装文化等）</p>

高校生「京の文化力」推進事業	<p>府立高校の文化部活動への支援等を通じて、京都文化の次世代への継承を図り、京都ならではの文化を育む。</p> <p><令和元年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○高校文化部の強化指定による育成 <ul style="list-style-type: none"> ・強化・育成を目指す高校の文化部を指定（19部門） ・高い専門性を有する外部指導者による指導 ○強化・育成校の生徒が地域の小・中学校の文化祭等に参加
南丹美術工芸パートナーズスクール事業	<p>南丹地区幼稚園・小学校・中学校・高等学校等連絡協議会と連携し、管内の美術工芸教育の推進を図るとともに、学校種を越えた「つながる学び」の取組を進めることを目的として、パートナーズスクールとして指定した小学校の児童が高校生の指導を受けて美術工芸作品を制作する。</p> <p><令和元年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○7月10日、17日、9月3日に亀岡市立亀岡小学校6年生98名が、亀岡高校普通科美術・工芸専攻1年生34名から指導を受け、母校の風景画を制作
TANGO子ども未来プロジェクト	<p>丹後の小・中学生を対象に地元ものづくり企業等から講師を派遣し出前講座を実施し、機械産業技術や科学技術に対する興味・関心を高め郷土愛を醸成することを通して、将来の丹後の機械金属産業や先端技術を担う人材を育成する。</p> <p><令和元年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○管内小中学校で年間20講座を実施予定
丹後の子どもドリームプロジェクト	<p>丹後にゆかりのある著名人や各方面でグローバルに活躍している方々による講演会や体験教室を実施し、子どもの将来の夢や目的意識、挑戦する意欲を醸成し、未来の丹後を担う人材を育成する。</p> <p><令和元年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○12月7日には舞踊家 大前光市氏（舞踏家 義足のランナー）による講演等を実施

【京都市事業分】

伝統芸能

事業名	事業概要
ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業	伝統芸能や茶道，華道，演劇，ダンスなどの分野で活躍する京都の一流の芸術家の方々に講師を依頼し，市内の小・中・総合支援学校，幼稚園，保育所（園），児童館を対象に芸術家を派遣し，文化芸術に関わる講話や実技指導，ワークショップ等を実施する。
ようこそ和の空間 伝統公演とくべつ授業	市内の中学生を対象に，能楽堂など本格的な舞台上で「能」「狂言」「邦楽と邦舞」など伝統芸能の魅力に触れる公演鑑賞事業を実施する。
京の子ども「かがやき」創 造事業	各校において，家庭や地域と連携しながら，放課後や休日・長期休業期間などに，学校教育活動として，伝統文化体験など様々な体験活動を実施する。
京の技専門家派遣事業	和服の基本的な着装や日本舞踊，和楽器による音楽に関する専門家を小中高等学校へ派遣する他，NPOによる，和の文化（伝統産業）体験教室（西陣・友禅体験教室）等を実施
市立高校生の伝統文化体験 事業「能楽鑑賞会」	市立高校生対象の能楽鑑賞会を開催し，京都ならではの文化，芸能を体験してその奥深さに触れることで，伝統文化に対する関心や理解の促進を図る。

文化財

事業名	事業概要
葵祭見学	全市立幼稚園の5歳児が葵祭を見学する。
時代祭見学	小学校6年生を対象に，希望校が時代祭を見学する。
歴史都市・京都から学ぶ ジュニア京都検定	「歴史都市・京都」への興味関心を深化させ，次代に受け継ぐ子どもたちを育むため，小学生が取り組むジュニア京都検定を実施。市立小学校5・6年生については，各校で無料受検。
中高生による「京都・観光 文化検定試験3級」チャレ ンジ事業	「歴史都市・京都」への興味関心を深化させ，次代に受け継ぐ子どもたちを育むため，市内在住・在学の中学生及び高校生を対象に，京都検定（京都・観光文化検定試験3級）を無償で受験する機会を提供する。

生活文化

事業名	事業概要
小中学校伝統文化体験（茶道・華道）事業	各団体や地域等から講師を招き、児童・生徒が「ほんもの」の伝統文化を体験することを通して、伝統文化のよさや作法、心配り等を学び、豊かな心や創造性等の涵養を図るとともに、生活文化としての定着とその振興・継承を図り、担い手を育むことを目的とする。
「茶道・華道体験活動スタンダード」の作成	全小・中学校での体験活動の実施に向け、茶道・華道の体験活動のモデルや茶や花を題材とした道徳科の指導案集など本市独自の茶道・華道体験活動のスタンダード（指導計画）を作成する。
土曜学習	土日祝日等の学校休業日に、学校を拠点として、地域ボランティアにより、学習活動の他、体験活動として「茶道教室、生け花教室など地域指導者を招いての伝統文化体験」「スポーツ教室」「地域の歴史や自然探訪」などの学びの場を提供。
学校給食における「和食」の充実に向けた取組の推進と情報発信	「和食」の特徴を強調した献立や、和菓子、漬物など、和食のよさを伝える食材等の提供を進めるとともに、「食」に関する指導の充実を図る他、各種媒体を活用して、和食文化や給食献立のレシピ等を情報発信し、家庭でのふれあいや体験を通してより確かな学びとなるよう努める。
「茶道」を中心としたおもてなし事業	市立高校生全員が、茶道を含む伝統文化に関する取組を在学中に計2回以上体験することで、世界を代表する文化芸術都市・京都で学ぶ市立高校生として必要なおもてなしの心を身に付ける。

伝統産業

事業名	事業概要
京の「匠」ふれあい事業	京都伝統産業ふれあい館や小・中学校において、伝統産業従事者による制作体験教室、制作実習等を実施

その他

事業名	事業概要
京都版ブックスタート事業	全ての乳児を対象とする保健福祉センター子どもはぐくみ室の8箇月健診で、市民ボランティアによる絵本の読み聞かせと合わせて、絵本（5種類から希望する1冊を選択）や手提げ袋等がセットになった「読み聞かせスタートパック」を贈呈し、親子が絵本とふれあい、親しむきっかけづくりを応援する。
こどもみらい館開館20周年記念事業	「こどもみらい館」の開館20周年事業として、親子で参加する「手づくり絵本コンクール」や絵本作家の講演会（ワークショップ）を開催するなど、「絵本」をテーマとして、子どもの健やかな育ちを楽しみ、喜びあえる取組を実施。
幼稚園大会及び親子音楽鑑賞会	（第1部）幼稚園大会。5歳児が3つのグループに分かれて歌や演奏を披露（第2部）京都市交響楽団による親子音楽鑑賞会 上記を通じて豊かな感性を育むとともに、親子の絆をより深めることを目的として実施
京都市幼児・児童・生徒作品展（姉妹都市作品展）	市立幼稚園・学校の園児・児童・生徒の優れた絵画・図画工作・美術・工芸・書写・書道の作品を一堂に集め、学習成果を発表・展示することにより、本市の美術・工芸・書写・書道教育の振興を図る。
小学生演劇鑑賞教室	「劇団四季」出演の優れたミュージカルを鑑賞し、子どもたちに感動を与え、文化や芸術に対する理解と関心をより一層深めさせるとともに、豊かな情操の育成を目的に実施
小学生のための音楽鑑賞教室	京都市交響楽団の演奏を鑑賞し、学校での音楽経験を広げ、オーケストラの美しさを感じるとともに、生活を明るく潤いのあるものにする習慣と態度を育てることを目的に実施。
（文化庁事業） 文化芸術による子供の育成事業	子どもたちに質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、継続的なワークショップ等の実施し、子供たちの創造力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげる。
（京都府教育委員会補助事業） 「KYO発見 仕事・文化体験活動」推進事業	小・中学校等において、地域社会における仕事や文化等の体験活動を通して、児童生徒に京都の伝統や文化を大切にする心や、望ましい職業観などを身に付けさせることを目的とした事業
文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業	文化芸術による共生社会の実現に向け、福祉施設等が文化芸術の取組に着手しようとする際の相談窓口の設置、運営など、文化芸術により、社会課題の解決や困難の緩和につなげ、共生社会（誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合い、人々の多様な在り方を認め合える社会）を実現するための基盤づくりに本格的に取り組む。

事業名	事業概要
京都市キャンパス文化パートナーズ制度	京都が有する多彩な文化に触れ、学ぶことを容易にすることで、学生が文化芸術に対する理解を深め、学生生活をより豊かなものとするを目的に、大学と京都市が連携し、学生の経済的な負担の軽減を図ることなどにより、文化体験を促す制度。
若者文化発信事業「ユスカル！～若者文化市～」の開催	あらゆる年代の方に、若者文化の理解を深めていただくことにより、青少年の成長を支援する環境づくりを推進・拡充することを目的として、ステージ、ブースを中心に、パフォーマンス・手づくり市・アート作品の展示等を通じ、若者が日頃感じていることを様々な形で発信する若者文化発信事業「ユスカル！～若者文化市～」を開催。
京都学生アートオークションの実施	大学コンソーシアム京都に加盟する美術系大学の現役学生のキャリア支援を目的としたオークションを京都芸術センター等の施設にて開催し、京都が世界に誇る美術系大学で学ぶ学生達のクオリティを発信するとともに、経済的にも自立しながら、継続して作品制作ができる環境整備を目指す。オークションによる売上げは、出品した学生へ全額還元される。
京都・和の文化体験の日の実施	2020年の東京オリンピック・パラリンピック等、世界的なスポーツ大会の開催や文化庁の京都への全面的移転を見据え、次代を担う若者が京都の文化芸術について理解し世界に発信することができるよう、大学生や高校生をはじめとする若者が、伝統的な文化芸術に触れ、伝統産業に親しむ機会を提供する取組を実施している。
若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりを支援する東山アーティスト・プレイスメント・サービス(HAPS)の取組	「大学のまち京都」で文化芸術を学んだ若い人材が、1人でも多く京都にとどまり切磋琢磨していける環境を整えることで、志と可能性を秘めた多くの人材を京都に集め、若手芸術家による文化芸術活動をまちの活性化につなげていく。また、芸術家が地域で居住・制作・発表することにより、地域のまちづくりを推進する。

府内の文化・芸術関係の主な公設の施設について

【京都府内分（京都市内除く）】

市町村	名称
福知山市	福知山市厚生会館
	佐藤太清記念美術館
	日本の鬼の交流博物館
	夜久野町化石・郷土資料館
	夜久野町生涯学習センター
	大江町総合会館
	福知山市新町文化センター
舞鶴市	舞鶴市総合文化会館
	舞鶴赤れんがパーク
	市民会館
	中総合会館コミュニティセンター
	郷土資料館
	田辺城資料館
綾部市	京都府中丹文化会館（府）
	綾部市市民ホール
	綾部市里山交流研修センター
宇治市	宇治市文化センター（文化会館）
	宇治市文化センター（歴史資料館）
	源氏物語ミュージアム
	生涯学習センター

市町村	名称
宮津市	みやづ歴史の館
亀岡市	ギャラリー亀岡
	亀岡市役所市民ホール
	馬路文化センター
	東部文化センター
	保津文化センター
	保津ヶ岳文化センター
	亀岡市総合福祉センター
城陽市	文化パルク城陽
向日市	向日市文化資料館
長岡京市	京都府長岡京記念文化会館（府）
	長岡京市立産業文化会館
	長岡京市立多世代交流ふれあいセンター
八幡市	八幡市文化センター
	松花堂庭園・美術館
	生涯学習センター
	ふるさと学習館
京田辺市	京田辺市コミュニティーホール
京丹後市	京都府丹後文化会館（府）
	京丹後市立郷土資料館
南丹市	南丹市立文化博物館
	南丹市美山文化ホール
	美山かやぶき美術館・郷土資料館
	国際交流会館

市町村	名称
木津川市	山城総合文化センター
	加茂文化センター
	中央交流会館
	東部交流会館
	西部交流会館
大山崎町	大山崎町歴史資料館
久御山町	ふれあい交流館ゆうホール
	くみやま遺跡展示室
宇治田原町	宇治田原町立総合文化センター
笠置町	笠置産業振興会館
精華町	むくのきセンター
	精華町コミュニティーホール
	精華町交流ホール
南山城村	南山城村文化会館
京丹波町	瑞穂ふるさと体験資料館
伊根町	伊根町コミュニティーセンターほっと館
与謝野町	野田川ユースセンター
	加悦椿文化資料館
	与謝野町立江山文庫
	与謝野町立古墳公園・はにわ資料館
	生涯学習センター知遊館
	三河内郷土資料室

※図書館及び公民館、ホール未設置の会館は未掲載

【京都市内分】

市町村	名称
京都市	京都コンサートホール（市）
	京都市北文化会館（市）
	府民ホールアルティ（府）
	京都府文化芸術会館（府）
	京都こども文化会館（府）
	京都市歴史資料館（市）
	京都市考古資料館（市）
	ロームシアター京都（市）
	京都市京セラ美術館（市）
	京都国立近代美術館（国）
	京都市動物園（市）
	京都芸術センター（市）
	京都文化博物館（府）
	京都市生涯学習総合センター（アスニー）（市）
	京都国立博物館（国）
	京都市東部文化会館（市）
	京都市学校歴史博物館（市）
	京都テルサ（府）
	京都市右京ふれあい文化会館（市）
	京都市西文化会館ウエスティ（市）
	京都市立芸術大学（市）
京都市呉竹文化会館（市）	
京都市醍醐交流センター（市）	
京都市図書館（市）※市内19箇所	

市民ニーズ調査・意識調査（H30 京都市実施）の文化芸術活動に係る調査項目に対する回答結果について

＊文化芸術活動に関する設問＊

学校の授業以外で、過去1年間に、自宅以外での文化芸術活動（映画、音楽、絵画、写真、演劇、能・狂言・歌舞伎などの鑑賞、体験など）を行う機会はどの程度ありましたか。

① 京都市子育て支援に関する市民ニーズ調査

【調査対象者】

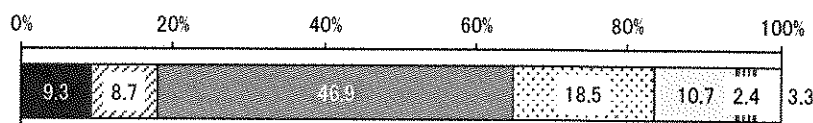
市内在住の小学生児童の保護者（6,500件）

【有効回収率】

49.3%

(N=3,202)

■ 1. 週1回以上 ▨ 2. 月1回以上 ■ 3. 年数回以上 ▨ 4. 年1回程度
 ▨ 5. まったくない ▨ 6. わからない □ 不明・無回答



※対象者の子どもの状況を質問

② 京都市家族や家庭生活のあり方に関する意識調査

【調査対象者】

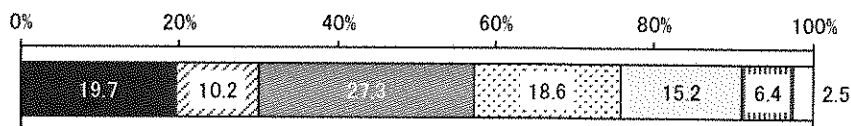
市内在住の18歳から49歳までの市民（6,500件）

【有効回収率】

28.7%

(N=1,866)

■ 1. 週1回以上 ▨ 2. 月1回以上 ■ 3. 年数回以上 ▨ 4. 年1回程度
 ▨ 5. まったくない ▨ 6. わからない □ 不明・無回答



※対象者が小学生～高校生の頃の状況を質問

③ 京都市ひとり親家庭に関する実態調査

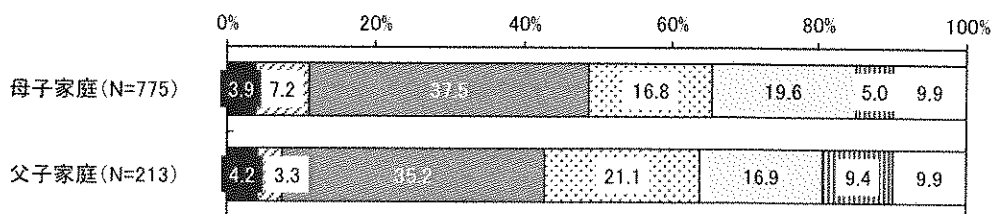
【調査対象者】

市内在住の母子・父子家庭（5,000件）

【有効回収率】

25.4%

■ 1. 週1回以上 ▨ 2. 月1回以上 ■ 3. 年数回以上 ▨ 4. 年1回程度
 □ 5. まったくない ▨ 6. わからない □ 不明・無回答



※対象者の子どもの状況を質問

④ 京都市青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査

【調査対象者】

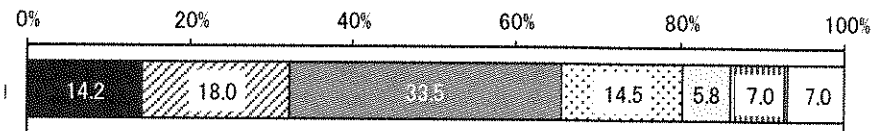
市内在住の13歳～30歳（6,500件）

【有効回収率】

21.4%

(N=1,393)

■ 1. 週1回以上 ▨ 2. 月1回以上 ▩ 3. 年数回以上 ▤ 4. 年1回程度
□ 5. まったくない ▦ 6. わからない □ 不明・無回答



※対象者が小学生の頃の状況を質問